

平成17年度春日部市

一般会計決算を認定

議員提出議案は、8議案が提出され7議案を可決

平成17年度一般会計決算を認定

新春日部市の平成17年10月1日から平成18年3月31日までの半年間のものです。

○主な内容

予算現額322億2409万4000円に対して、歳入決算額は325億642万2186円、歳出決算額は309億1282万8906円となりました。差引残額は、15億9359万円となり、平成18年度に繰り越すものです。

○歳入の主なもの

歳入の根幹の市税は114億2822万8043円で全体の35.16%を占めています。

次いで、市債が58億1120万円（全体の17.88%）、国庫支出金が30億1451万7214円（全体の9.27%）、地方交付税は22億5334万6000円（全体の6.93%）となっています。

また、諸収入が33億9511万457円（全体の10.44%）で、旧市町の歳計剰余金20億9942万5000円が含まれています。

○歳出の主なもの

歳出において占める割合の大きいのは、民生費で80億6281万8722円（全体の26.08%）、次いで、総務費が57億7214万4124円（全体の18.67%）、公債費が40億6781万3123円（全体の13.16%）、土木費が39億4879万5054円（全体の12.77%）、教育費が34億1594万3199円（全体の11.05%）、衛生費が32億9013万6272円（全体の10.64%）となっています。

この衛生費には、合併により解散した埼玉清掃組合経費が、環境センター経費として含まれています。

討 論

市民本位の市政実現に全力を挙げることとを申し上げ決算認定に反対（日本共産党）

合併によって大きく負担が軽減されたという実感はありません。庄和地域で行われてきたきめ細かな住民サービスを洗い出して復活させ、全域に広げることが強く求めます。財政面では、少しも好転したという兆しさえないのは、明らかです。市長は今議会で、宮代、杉戸との合併を口にしていますが、春日部、庄和の合併の市民的な総括もされていない今日において、軽々に口にすべきではありません。こども医療費無料制度では、一歩前進ですが、これだけでよく世間並みです。子育て日本一の公約にふさわしい水準までの引き上げを求めます。庄和総合支所の図書館実現

の合併時の約束は一刻も早く履行されなければなりません。19年度建設、20年度オープンで進めることを強く求めます。

一層の効率的な財政運営に努めてもらうことを要望して賛成（新政の会）

旧市町の施策を引き継ぎつつ合併後の市民生活に支障を来さないよう、迅速かつ効率的な予算執行に努めたことは、評価するものと考えます。

歳入は、自主財源の確保に向けて収納率向上対策に全力で取り組まれたことに、一定の評価をします。さらなる財源確保の努力をお願いします。市債については、計画的かつ効率的な借り入れを望みます。

歳出では、北春日部駅にエレベーターと身障者トイレが整備されて、障害者や高齢者の安全と利便性が向上したものと考えます。また、庄和子育て支援センターが6月にオープンして少子化対策の拠点になるものと期待いたします。まちづくりでは、春日部駅、南桜井駅周辺の環境整備を行うなど、地域の活性化が図られるものと期待いたします。

議員提出議案

病院長、病院事務部長に
対する処分の
撤回を求める決議

先般、市立病院長、病院事務部長に対し、それぞれ「口頭注意」、「訓告」の処分が行われた。これは、平成18年6月春日部市議会定例会での「高橋弘監査委員の辞職を求める決議」及び、「春日部市立病院の再建、充実を求める決議」の精神に反する不当なものである。よってこの処分を市長は撤回すべきである。

以上、決議する。

平成18年9月22日

春日部市議会
【賛成多数で原案可決】

討 論

今回の措置は専ら
市長の権限である
ため反対（新政の会）

今回の措置は、職員の行為に対する地方公務員法に基づかない市長からの注意だと認識しています。そもそも市長は、職員の行為によって公務

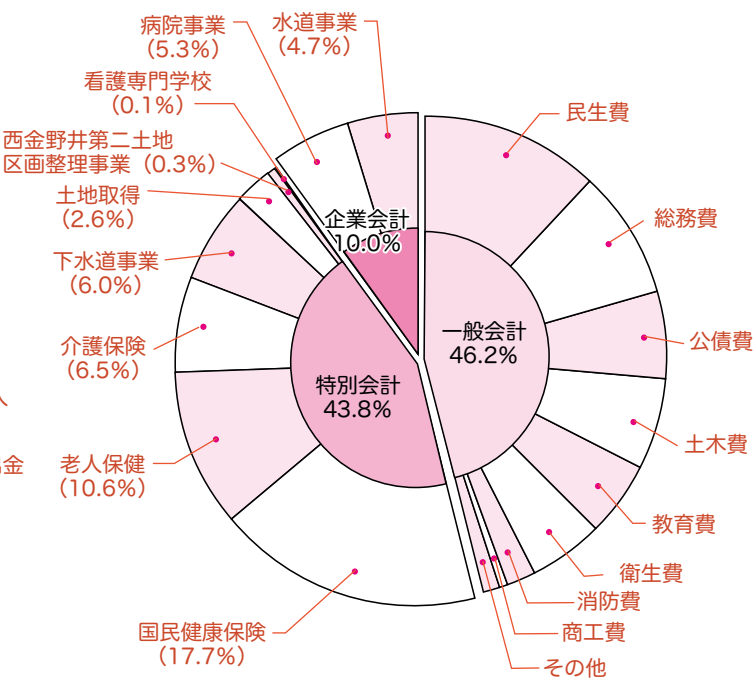
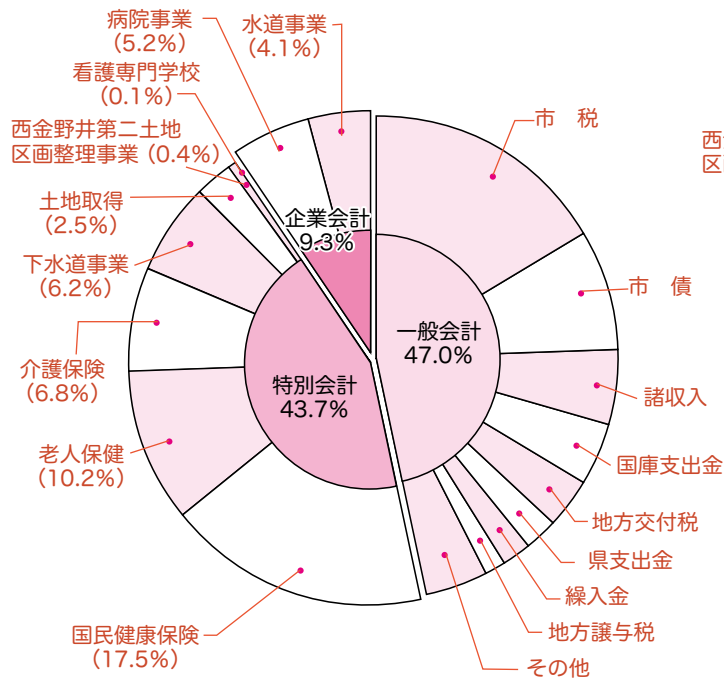


平成17年度 会計別決算

(平成17年10月1日～平成18年3月31日)

歳入総額 691億5,423万円

歳出総額 669億4,546万円



一般会計				特別会計			企業会計		
歳入		歳出			歳入	歳出		病院事業	水道事業
市税	114億2,823万円	民生費	80億6,282万円	国民健康保険	121億1,236万円	118億5,466万円	収益的収入	27億4,917万円	22億2,504万円
市債	58億1,120万円	総務費	57億7,214万円	老人保健	70億3,780万円	71億1,695万円	収益的支出	29億8,449万円	20億8,157万円
諸収入	33億9,511万円	公債費	40億6,781万円	介護保険	47億 227万円	43億9,086万円	資本的収入	8億4,453万円	6億2,111万円
国庫支出金	30億1,452万円	土木費	39億4,880万円	下水道事業	42億5,392万円	39億9,935万円	資本的支出	5億5,853万円	10億5,385万円
地方交付税	22億5,334万円	教育費	34億1,594万円	土地取得	17億3,604万円	17億3,604万円			
県支出金	15億8,821万円	衛生費	32億9,014万円	西金野井第二土地区画整理事業	2億9,588万円	1億8,962万円			
繰入金	13億2,924万円	消防費	12億7,132万円	看護専門学校	6,969万円	6,671万円			
地方譲与税	8億9,705万円	商工費	4億2,579万円	計	302億 796万円	293億5,419万円			
その他	27億8,952万円	その他	6億5,807万円						
計	325億 642万円	計	309億1,283万円						

の秩序が保たれないと判断した時には、再発防止のため、必要な措置をとるべきものであり、今回の措置もそれに基づいた措置であると思います。

今後の再建へ向けての取り組みに水を差すものであり賛成（日本共産党）

6月議会での「再建・充実を求める決議」以降、市を挙げて市立病院の再建・充実のために、全力を尽くしてきたことと思います。この状況の中で、一方的に病院側だけに責任を負わせて、あたかも市長や市長部局には何ら責任がないような措置は、この決議の精神に反すると思います。

病院スタッフのやる気もなくすものであるため賛成（春和会）

病院長は、非常に診療業務に熱意のある立派な方です。その方が監査委員の言動に対して思い余った措置に對する処分です。病院長を罰するのが正当ではないかと思えます。処分は、再建に向け重大な使命がある病院スタッフを傷つけるものだと思います。